

# エレシユキ ガルと 魔力供給

**R18**  
成人向



「な…ななな」  
「いきなりナニ出してんのよー！」

はわわ、

「ナニって魔力供給の用意だよ  
エレジユキガル」

「魔力供給って…  
普通にすれば良いじゃない  
そんなの必要ないでしょ？」

「いやいや  
カルデアの魔力供給は  
マスターである僕の精液を  
直接接種しないといけないんだ」



「そんなコト急に  
言われても心の準備が…」

「ほらほら  
早くしないと」

「なっ…うう〜」

「じゃあ…好きなように  
させてもらおうかなっとお〜」

「おお…エレシユキガルの  
ロヤッバ…い」

「!?」

「ごっ…んぐん」

「やっぱり女神様は  
他のサーヴァントとは違うなあ」

「んっ……っ」

あ

「ああ〜女神フェラ  
やばい…癖になりそう」

「じゃあ口に出すから  
全部飲んでね  
エレシユキガル♡」

(ま…待って  
そんな…んっっっ)

「んっ……ぐっ……」

(何コレえ…)

口の中でどんどん  
大きくなつて……っ)

(あああっ……んっ……)

っっっ……んっ……んっ……)

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

(んっ……？  
はれ……え……んあっ)

「あっ気がついた？」  
「いきなり意識なくすから  
驚いちゃった」

りぢっ

「ますたあ……ふあっ  
ナニ……これえ？」

「ああコレ？  
時間もつたいたいから  
挿入ちゃったよ」

「なん……れ  
勝手にい……んあ……あっ♡」

「僕の精液には  
媚薬効果があるから  
初めてでも気持ちいいでしょ？」

「まんこも濡れ濡れで  
ちんぽに絡みついて  
スゴイ……よ！」

「ま……すたあのちん……ぽ？」  
「んっ♡……でたり……  
はいつたりして……るう……♡」

ア  
い

ア  
ア

ア  
ア  
ア  
ア

「エレシユキガル  
Hするの本当に初めて？」

「は…はじめてえ  
ますたあのおちんぽが  
はじめて…れすう♡」

「うん知ってる」  
「ほら舌出して  
エレシユキガル」

「んっ…ちゅう♡  
ますたっ…ちゅ♡」

「本当かなあ？  
冥界でやりまくり  
だったんじゃないの？」

「はあ…はっ♡  
知ってるくせ…にい  
「ドイ」と言わないでえ…」

「はあ…好き♡あんっ♡  
ますたあ好き…大好きい…♡」

モッ

モッ

ムッ

ムッ

ムッ

ムッ

ムッ



「だすぞっ…中に全部っ」

「うん…だしてえ♥」

「だして…ますたあの♥  
せーえき…私のナカにい♥」

「はああ…これしゅち…いっ  
あっ…ついのが…中にいっはっ♥」

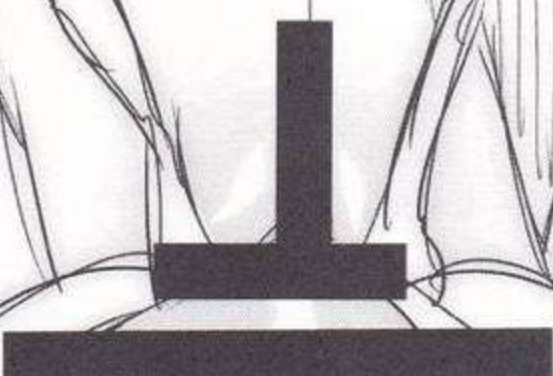
「もっともつとますたあの  
魔力を…わたしの中に  
注いでほしい…です♥」

と

NP

と

と



夢を見たためニニニ

...

サンダー  
仕事して  
クリニ

■2017/12/31 コミックマーケット93  
■発行\_小糸創作所\_ひなた睦月

■hp\_ <http://orepeko.jog.buttoebi.net/>  
blog\_ [http://blog.livedoor.jp/hinata\\_mutsuki/](http://blog.livedoor.jp/hinata_mutsuki/)  
mail\_ [do-h2@amber.plala.or.jp](mailto:do-h2@amber.plala.or.jp)

■印刷\_スズトウシャドウ印刷様

■この本の無断転載等の行為を禁止します  
■また、未成年者の閲覧・購入も禁止します